

令和7年12月  
防衛省

陸上自衛隊大分分屯地に関する  
令和8年度予算案（部隊改編・施設整備）

【後方支援部隊の廃止】

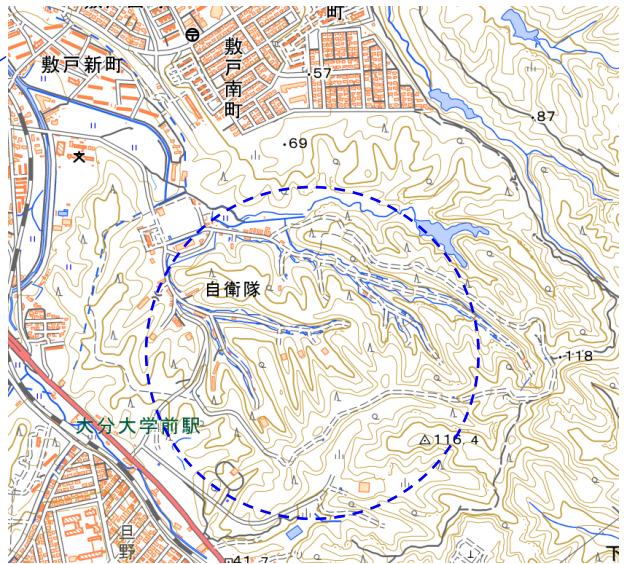
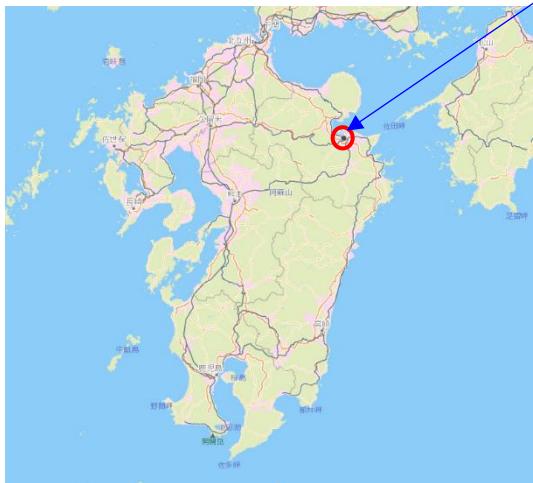
- 大分分屯地においては、令和8年度に、即応予備自衛官の運用見直しのため、第101弾薬大隊の廃止（約80人減）を行う予定です。

|       | 令和7年度                                    |       | 令和8年度（見込）             |      |
|-------|------------------------------------------|-------|-----------------------|------|
|       | 主要部隊等                                    | 定員    | 主要部隊等                 | 定員   |
| 大分分屯地 | 九州補給処大分弾薬支処<br><u>第101弾薬大隊</u><br>その他の部隊 | 約170人 | 九州補給処大分弾薬支処<br>その他の部隊 | 約90人 |

※ 定員は常備自衛官を示す。  
※ 四捨五入により、計は一致しない場合がある。

【施設整備】

- 国家防衛戦略及び防衛力整備計画においては、自衛隊の十分な継戦能力の確保・維持を図る必要があることから、弾薬の生産能力の向上及び製造量に見合う火薬庫の確保を進め、必要十分な弾薬を早急に保有することとしています。
- 令和8年度予算案においては、
- ・火薬庫2棟の工事
  - ・火薬庫2棟の調査・設計
  - ・弾薬の整備場の工事
- に係る経費として全体で約52億円を計上しています。



大分分屯地